

矢中中学校の環境教育概要 ～花づくりは心づくり 心づくりは人づくり～

高崎市立矢中中学校は、昭和60年4月1日に設立されました。
矢中中学校では、すべての教育活動の基礎に“**情操教育**”を据え、
『花づくりは心づくり、心づくりは人づくり』を精神に、感性豊かな生徒の育成を目指して、36年間続けてきた緑化活動（ペチュニア栽培）の意義を考え、PTAや地域と協力し、意欲的に緑化活動に取り組んでいます。



緑化活動（ペチュニア栽培）内容 ～矢中中学校全校生徒による活動～

4月＜種まき＞

矢中中学校のペチュニア栽培は、『種』から育てます。0.5mmほどの小さな種も大切に育てることで、やがて美しい花を咲かせる…**ここに大きな達成感がある**のです。



6月＜仮定植＞

種を蒔いてから約2～3週間で本葉が出ます。まずはポットに仮定植し丈夫な苗を育てていきます。その総数は約900個！**手間暇をかけて小さな命を大切に育てていきます。**



通年＜水やり・施肥・剪定＞

日々の水やり、施肥は全校生徒の手で実施します。大型連休中や夏季休暇中にも、各クラスや部活動などで当番制を組み、**全校生徒の手で『責任』をもって取り組んでいます！**



7月＜定植＞

仮定植からおよそ1か月間かけて、ポットで育てた苗を、プランターに定植します。定植後2週間程度で、**校舎全体を、その年の新たなペチュニアが彩り始めます！**



緑化委員会の活動

本校では、専門委員会の活動として「緑化委員会」が設置されています。各クラスでのペチュニア栽培を中心となって進めたり、花壇の整備を行ったりと、本校における緑化活動をリードしてくれています！



矢中中学校緑化活動実績

第27回 全国花いっぱいコンクール最優秀賞
花のまちづくりコンクール建設大臣賞
高崎市花いっぱいコンクール最優秀賞
県小中学校環境教育賞奨励賞

緑化活動（ペチュニア栽培）と地域との連携

ペチュニア地域配布

矢中中学校区の公民館や幼稚園、消防署など17施設を巡り、矢中中学校で育てているペチュニアを地域にもお届けしています。



PTA 緑化奉仕作業

夏季休業中のPTA緑化奉仕作業では、保護者・地域の方々と協力し、学校敷地内の整備をおこないます。



<成果と課題>

- 全校を挙げた緑化活動を通し、『素直』で『責任感』ある矢中中生らしさが育成されている。
- ペチュニア栽培を通して地域との連携を深め、信頼される学校へと成長している。
- △生徒の主体的な活動を主とした持続可能な活動を模索していく。

